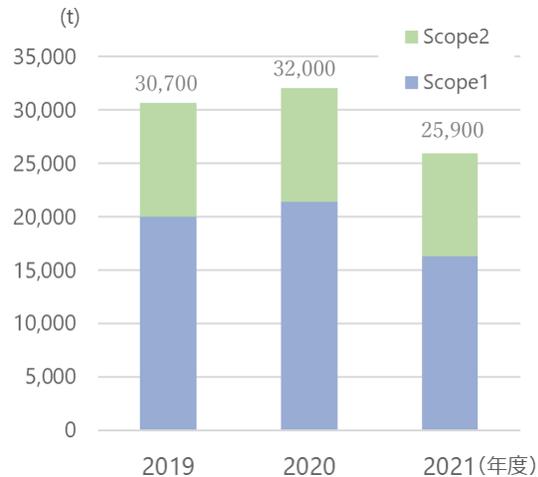


当社グループにおけるCO₂排出量削減について

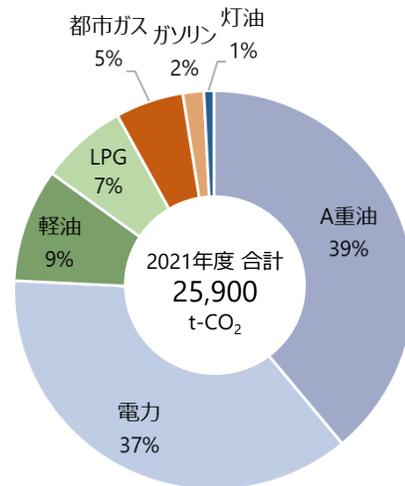
基本的な考え方

私たちは、脱炭素社会の実現に貢献するため、創業100周年を迎える2048年にCO₂排出削減量（2019年度比）ネットゼロを掲げております。また、TCFD*への賛同を見据え、環境に配慮した製品の技術開発、普及および展開を進め、脱炭素社会を牽引していきます。*TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

直近3か年のCO₂排出量の実績



CO₂排出起源の内訳



CO₂排出量の実績

当社グループは今年度より、本体および連結子会社計20社のCO₂排出量の算定に取り組んでおり、直近3か年のCO₂排出量(Scope1, 2)の実績を開示いたします。今後はScope3の算定に加え、算定対象とする事業所の範囲も順次拡大し、2023年度以降に開示して参ります。

- ・CO₂排出量は、各エネルギーの使用量に公表制度等における排出係数を乗じて算出しております。
- ・Scope1の燃料として、A重油を主に使用しております。その用途は、製品の蒸気養生に使用するボイラの燃料になります。
- ・Scope2の電力は、主に工場における製品の製造時に消費されております。また、マーケットベースに基づき、前年度の電気事業者別排出係数一覧（環境省）を参照して算出しております。
- ・実績が取得できなかった一部のデータに関しては、製造量等に基づく推計により算出しております。

CO₂排出量の削減目標

日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言を受けて、当社グループでも脱炭素にむけた取り組みを加速しており、2019年度のCO₂排出量を基準とし、以下の目標を掲げております。

年度	2028	2038	2048
CO ₂ 排出削減率	40%	80%	100%（ネットゼロ）

エコタンカル®



PAdeCS®



削減に向けた取り組み

下記の4つの方針に従って、当社独自のCO₂を固定化した材料（CCU材料）であるエコタンカルやPAdeCSといった環境製品の利活用および技術開発に注力し、CO₂排出量低減に努めて参ります。

【CCU材料の利活用】

- ・方針1. 既存製品（ポール・パイル・土木製品等）を、CO₂固定化商品“グリーン製品”へ転換
- ・方針2. 自社施工向けの資材としての利用（杭基礎現場で使用する固化材代替等）
- ・方針3. 材料としての販売（畜産資材・中和剤・リン除去材等）

【エネルギーの高効率利用の検討】

- ・方針4. 工場・輸送の省エネルギー化（燃料の切替、LED照明の導入、グリーン電力の使用等）

取組みの詳細については、[2022年度中間決算説明会資料「環境への取り組み」](#)もご参照ください。